


国の接触確認アプリとの比較・ソフト活用の効果

	厚生労働省アプリ 「COCOA」	愛媛県独自システム 「えひめコロナお知らせネット」
事前登録	アプリのダウンロード	店舗側：QRコードの発行 利用者：LINEの登録
接触確認方法	Bluetooth	QRコードの読み取りによる 訪問情報の確認
接触確認条件	<u>感染者と1m以内の距離で 15分以上 近接</u>	<u>感染者が訪れた施設等と同じ日、 同じ時間帯に訪問</u>
通知方法	<u>感染者が</u> 感染したことをアプリに入力 アプリの <u>アラート</u> で通知	<u>県が</u> 感染者と接触が疑われる人に <u>LINE</u> で通知
通知内容	特定の日 <u>に感染者と接触した可能性</u>	特定の日 <u>に感染者と同じ時間帯に同じ 施設を利用</u> し感染者と接触した可能性

両方のソフトを併用することで、特定の日に「感染者の近くにいた」ことと「感染者と同じ特定の施設等にいた」ことの把握が可能となり、**濃厚接触者の早期把握**と**関係者特定の確度向上**が見込まれる。



イベント等の開催要件を緩和するが、両方のソフトを積極的に活用することで、**感染者が発生しても早期のクラスター対策が可能に。**